

令和8年9月1日

磐田市長 草地 博昭 様

磐田市議会議長 鈴木 喜文

第3次磐田市総合計画（素案）に対する提言について

本市では、令和9年度からの4か年を期間とする第3次磐田市総合計画（前期基本計画）の策定が進められており、今後のまちづくりの羅針盤を定める極めて重要な局面を迎えています。

磐田市議会は、日頃の議員活動や市民等の皆様から寄せられる多様な声を踏まえ、本計画をより実効性の高いものとし、市民の安全安心や幸福感の向上につなげるべきであると考え、特別委員会において慎重に検討・協議をしてきました。

特別委員会分科会においては、当局から示された素案の確認にとどまらず、議員間討議を通じて議会として政策的な議論を深め、委員会としての考えを形成することに重点を置きました。

本提言は、これらを取りまとめ、本計画が描く将来像の確実な実現に向けて、市民目線に立ち、特に重点的に取り組むべき施策や具体的な改善点について、提言を行うものです。そしてこの提言が、最終的な計画（案）に反映されることを望みます。

第3次磐田市総合計画（素案）に対する提言

磐田市議会総合計画特別委員会では、総合計画という本市の最上位計画の素案に対し、当局への質疑にとどまることなく、委員間での協議・討議を重ねながら、計画に掲げられた将来像と、その実現に向けた施策の方向性について議論を深めました。

その過程では、それぞれの委員が異なる視点や考えを持ち寄り、個々の施策にとどまらず、人口減少や少子高齢化、地域経済、都市基盤、教育、福祉、防災、行政経営など、本市がこれから直面する課題を総合的に捉えながら、「これからの磐田市をどのようなまちにしていけるのか」という視点から議論を積み重ねました。

討議の最後には、「このまちに住みたい、また帰ってきたい、若い人が住みたいと思えるまちにするためには、みんなで一緒に考え創っていくまちづくりが重要である」「共創が本当に大事で、市に要望するだけでなく、市民がどう関わるかが重要である」といった、計画全体を見据えた意見が出され、委員間で認識を共有しました。

本提言に掲げた「修正を求める事項」「強化を求める事項」「今後の検討課題」は、単に計画の不足を指摘するものではありません。その根底には、本計画が掲げる「ウェルビーイング」の視点から、市民一人ひとりが将来にわたって豊かさや幸せを実感できる磐田市を実現したいという磐田市議会の思いがあります。

磐田市議会におけるこれまでの議論が、本提言を通じて、今後の総合計画の実効性を高め、市民一人ひとりのウェルビーイングの向上につながることを心より期待し、以下のとおり提言します。

記

1 「第1章 はじめに」

(1) 修正を求める事項

- ① 4 ページ 「深刻化する気候変動と環境問題への対応」のうち「グリーンインフラの推進」において、頻発・激甚化する自然災害への対応の記述があるが、これは別項目を建て、最も市民の関心が高い水害・土砂災害対策にも触れながら記載すべきと考える。記載方法について再考されたい。

- ② 6 ページ 「計画策定における視点」それぞれについては理解できるものの、3つの視点は横並びの考え方ではないため、それぞれの位置づけと関係性が理解しづらい。また、9 ページには、総合計画とSDGs との関係性も記載され、総合計画の背景となる情報も多岐に渡っている。市民目線での分かりやすさを考慮して、3つの視点、SDGs 及びしあわせバイタルを含めたそれぞれの位置づけと関係性を、分かりやすく「イメージ図」もしくは「全体説明」として追記されたい。
- ③ 8 ページ「共創STEP 1・2・3の図」について、「共創が継続的に発展・循環していく」ことが伝わる表現を求める。
- ④ 8 ページ バックキャスティングの図について、令和 16 年度より先の年度も記載した方が分かりやすいと考える。記載について再考されたい。
- (2) 強化を求める事項
なし
- (3) 今後の検討課題
- ① 3 ページ 「社会の潮流の変化」について、各項目の関係性や社会情勢が複雑に絡み合っていることが伝わるよう、図やイラストを含めたデザイン上の工夫を求める。
- ② 5 ページ 「ダイバーシティ&インクルージョン」について、一人ひとりの違いに応じて必要な支援を行う考え方が、計画の背景や解説に十分盛り込まれているか確認し、必要な検討を行うことを求める。

2 「第2章 基本構想」

(1) 修正を求める事項

- ① 10 ページ 「市民投票の結果」の表現は、「まちの将来像」を採用したプロセスを詳細かつ丁寧に説明した文章を掲載するように変更されたい。
- ② 10・11 ページ 「まちの将来像に込められた思い」の見せ方について、若者の意見だけで将来像を決めたように受け取られないよう、幅広い市民の意見を踏まえて策定したことが伝わる構成への修正を求める。
- ・若者の意見を重視したことは評価しつつ、高齢者や働く世代をはじめ、幅広い市民の意見を踏まえて策定したことが伝わるよう、写真の差替え・追加や、意見聴取から将来像決定までの策定プロセスを掲載するなど、「市民みんなでつくった計画」であることが分かる構成への修正を求める。

- ③ 15 ページ 「土地利用の方針」について、災害対策に関連して土地利用に制限がかかる場合があるので、防災的な視点で強調するよう、文章表現について再考されたい。

(2) 強化を求める事項

- ① 15 ページ 「土地利用の方針」について、コンパクトなまちづくりという記載はあるが、人口減少の現状認識が弱いと感じる。都市計画マスタープランなどの上位計画として、人口減少が進む現状を受け止めた都市計画が必要であることを明確にした方針の記載を求める。

(3) 今後の検討課題

なし

3 「第3章 前期基本計画」

分野1 産業・雇用

(1) 修正を求める事項

- ① 24 ページ Topics の「サプライチェーン」の表現について、市内だけで完結しているように受け取られる可能性があるため、市域を越えた広域的なサプライチェーンであることが伝わるよう、事実関係を確認した上で文言の修正を求める。

- ② 11 ページの「まちの将来像に込められた思い」に「世界とつながる」という表現がある一方、「基本政策3」では、その方向性が十分に伝わらないため、27 ページ「施策と主な取組」の全体について、次のとおり修正を求める。

ア 世界とつながる産業政策の強化を目指すために

- ・「世界とつながる産業」を掲げる以上、受け身のマッチング支援にとどまらず、市が主体的に海外展開や市場開拓を支援する姿勢が伝わる表現への修正を求める。
- ・市内のグローバル企業、優れたものづくり技術、企業集積、国際連携を産業戦略に組み込み、海外市場の開拓、高度人材の獲得、新産業創出を支援する方向性を明確にすることを求める。
- ・「世界とつながる挑戦的な産業都市」という方向性を、目指す姿や主な取組に反映する表現への修正を求める。

イ 次世代産業政策の明確化のために、AI、ロボティクス、新エネルギー、カーボンニュートラル関連産業など、国・県が進める成長分野を本市の産業

政策に明確に位置づけることを求める。

(2) 強化を求める事項

① 22 ページ 「目指す姿」の「稼げる農業」について、農業者が将来に希望を持ち、意欲的に経営に取り組める方向性が伝わる表現の強化を求める。

- ・既存農業者の経営安定や技術継承、新規就農者の確保に加え、営農型太陽光発電、6次産業化、農産物の高付加価値化、ブランディング、販路開拓など、地域や経営体の実情に応じた多様な取組を支援し、農業者自らが経営の可能性を拡げ、新たな収益機会に挑戦できる環境を整えることで、農業所得の向上につなげる視点の充実を求める。

② 23 ページ 施策と主な取組（２）農林水産資源の保全のうち、水稻・米政策について、本市の農業の大きな強みとして明確に位置づけることを求める。

- ・農地の集積、圃場整備、農業施設の更新、スマート農業の導入、稲作農業者への支援などを通じ、持続可能な水稻農業を支える視点の充実を求める。
- ・学校給食などの地産地消とも結びつけ、米の生産から消費までを市全体で支える視点の充実を求める。

③ 23 ページ 施策と主な取組（３）農林水産資源を生かした魅力の発信について、「魅力のさらなる発信」または「発信力の強化」など、今後の取組を強める表現を求める。

④ 25 ページ「施策と主な取組」の全体について

ア 担い手不足や技術継承に対し、単なるマッチング支援にとどまらず、若者や高度人材の定着につながる戦略的な取組の強化を求める。

イ 大学、金融機関、スポーツ団体、企業などとの産学官金連携を活用し、オープンイノベーションや事業承継の推進を求める。

ウ 製品やブランドのPRだけでなく、次世代を担う人材の育成・確保を計画に明確に位置づけることを求める。

エ 地場産業の対象拡大と発信のために、繊維・別珍だけでなく、楽器、光産業、機械産業など、本市の多様な産業をバランスよく位置づけるとともに、産業振興フェア等への参加機会を拡げ、地場産業が市民や若者と接点を持てる仕組みを強化することを求める。

⑤ 27 ページ 「施策と主な取組」の全体について

ア 若者・女性等に選ばれる企業誘致を目指すために

- ・従来型の工場誘致に偏らず、若者、女性、障がい者、高齢者など、多様な

人材が働きたいと思える企業・職場の誘致の強化を求める。

- ・ オフィス立地だけでなく、本社機能、研究・開発拠点、成長産業など、質の高い雇用を生み出す企業誘致を明確に位置づけることを求める。

(3) 今後の検討課題

- ① 23 ページ 林業・水産業・畜産業の記載について、農業に偏らず、海・山・畜産をバランスよく表現するよう検討を求める。
 - ・ 林業は森林の維持、担い手確保、防災面など、水産業は福田漁港の活用や新たな水産業モデルなども含め、写真や事例とともに将来像が伝わる記載について検討することを求める。
 - ・ 22 ページ「目指す姿」に「農林水産業全体の将来の新たな在り方」を盛り込むことについて検討を求める。
- ② 27 ページ 「次世代産業」を新たな基本政策として独立させることや、基本政策3の中に施策として加えることが重要と考える。独立した基本政策とするには施策の具体性や事業量が不足する可能性もあるため、構成を含めて検討することを求める。

分野2 自治・共生・スポーツ・文化・観光

(1) 修正を求める事項

- ① 28 ページ 政策の背景のうち「共生社会の重要性」について、市民意識調査の多文化共生（外国人）に関する結果と男女共同参画（女性）に関する結果の記述が混在しているため、それぞれの課題が明確になるよう、文章表現について再考されたい。
- ② 29 ページ 施策と主な取組（3）共生社会の推進について、「男女共同参画」の文言のリード文への追加や、SDGsの目標でもある「ジェンダー平等」を施策に独立した項目として建てるなど、強調する方向で文章表現について再考されたい。
- ③ 34 ページ 基本政策4のタイトル「文化・芸術・歴史資源の活用」について、活用の先のまちづくりの視点を入れ「を活用したまちづくりの推進」とすべきである。文章表現について再考されたい。
- ④ 35 ページ 施策と主な取組（3）文化ゾーンを生かしたまちづくりの推進について、文化ゾーンの場所、施設及び役割が具体的に分かるよう、表現について再考されたい。

- ⑤ 36 ページ 目指す姿のうち「良いまち」は分かりにくいので、表現について再考されたい。
 - ⑥ 37 ページ 施策と主な取組（３）のうち、「まちの広場」について、他の資料に合わせ、「広場」をひらがな表記に改められたい。
 - ⑦ 37 ページ 共創への取組の「事業者・関係団体等」のうち「おもてなし環境」について、具体的にイメージしづらいので、表現について再考されたい。
- (2) 強化を求める事項
- なし
- (3) 今後の検討課題
- なし

分野３ 子育て・こども・若者・教育

(1) 修正を求める事項

- ① 39 ページ 施策と主な取組（２）のうち「子育てに関心のある企業と連携した就労支援体制の構築」は、関心の有無にかかわらず連携していく必要があるため、「子育てに関心のある」の部分を削除し「企業と連携した就労体制の構築」とするよう再考されたい。
- ② 39 ページ 施策と主な取組（３）のうち「入園希望に対するきめ細やかな相談支援の充実」は、入園調整をしている児童に対しても同様の支援が必要と考えるため、「入園希望や入園調整中の児童などに対するきめ細やかな相談支援の充実」とするよう再考されたい。
- ③ 41 ページ 施策と主な取組（３）「こども・若者が安心して過ごせる環境の整備」とあるが、主な取組はこどものみの記載となっているため、若者視点の取組が必要と考える。また、「共創への取組」の「期待することの一例」にも若者についての記載を追加するよう再考されたい。
- ④ 42・43 ページ 基本政策３「こども・若者の健全育成」は、若い人が主体的に挑戦できるようなタイトルへの修正・追加を検討されたい。
- ⑤ 44 ページ 政策の背景のうち「多様な支援を必要とする児童生徒の増加」に掲載されている「不登校及び外国人児童生徒数推移」のグラフについて、児童生徒数が減少を続けている現状を踏まえて、児童生徒全体数に対する不登校児童生徒数の比率の表示を追加するなど再考されたい。
- ⑥ 45 ページ 施策と主な取組（３）のうち「社会変化に対応した学校給食費

の見直し」について、見直しの方向性が分かりにくいいため、「社会変化に対応した質の高い学校給食の継続と保護者の負担軽減」など具体的な取組となるよう再考されたい。

(2) 強化を求める事項

① 39 ページ 施策と主な取組（２）のうち「不妊治療費の助成や妊婦のための給付金の実施」は、政策の背景にある少子化の進行について、支援体制の充実を課題としているため、「実施」ではなく「充実」など前向きな表現となるよう再考されたい。

② 40 ページ 政策の背景で「遊び場と居場所ニーズの高まり」に掲載されている表には、アンケートの結果として「こどもがしあわせに暮らすまちになるために必要だと思うサポート」の３位に自殺が挙げられている。自殺等を未然に防ぐためにも、「施策と主な取組」の一項目として「こども・若者の命を守る取組」を取り上げるよう求める。

(3) 今後の検討課題

① 41 ページ 施策と主な取組（３）のうち「こどもの居場所づくり活動に対する支援の継続」とあるが、居場所の定義が明確でないこと、こどもについても幼児から若者まで幅広いこと、「まぜこぜ居場所」などの活動も広がりつつあることなどから、「居場所」の捉え方が人により異なっていると思われる。

こども・若者が安心して過ごせる環境の整備における個々の取組の考え方や内容が、市民の共通認識を得られるよう「居場所」という言葉の使い方、子育て支援センター・放課後児童クラブ・放課後子ども教室や各種サロン等のあり方を含め、今後の検討課題として調査研究されたい。

分野４ 福祉・健康

(1) 修正を求める事項

なし

(2) 強化を求める事項

① 54 ページ Topics に「磐田市健幸づくり及び地域医療を守り育む条例を制定し、市民・事業者・行政の共創で健幸づくりを推進しています」の一文を追加し、健幸づくりへの取組姿勢を強く打ち出すよう求める。

(3) 今後の検討課題

なし

分野5 防災減災・消防・安全

(1) 修正を求める事項

- ① 58 ページ 政策の背景の「自主防災組織の担い手不足」について、若い世代や女性だけでなく外国人を含む幅広い市民の参画を促す観点から、「多様な人材の参画による自主防災組織の活性化」とするなど、表現について再考されたい。

(2) 強化を求める事項

- ① 59 ページ 原子力災害対策は、危機管理の最たるものであるが記載されていない。施策として取り上げる必要があるので、基本政策1において記載されたい。
- ② 59 ページ サイバーセキュリティ対策は、行政サービスのデジタル化が進む中、サイバー攻撃や情報漏洩など、危機管理体制の強化に重要な取組であるが記載されていない。危機管理又は行政運営の分野において、明確に記載されたい。

(3) 今後の検討課題

なし

分野6 都市基盤・環境

(1) 修正を求める事項

- ① 65 ページ 施策と主な取組（2）景観を資源とするまちづくりの展開のうち、「景観形成モデル事業の実施」について、従来の景観形成モデル事業のこれまでの効果を検証し、建物や外観を整えることにとどまらず、人を呼び込み、交流や地域活性化につながる取組へと内容をブラッシュアップするとともに、取組の方向性が伝わる表現や掲載写真への見直しを求める。
- ② 67 ページ 施策と主な取組（3）新たな地域公共交通の構築のうち、自動運転・次世代モビリティについて、自動運転は既に実証プロジェクトが動き始めていることから、「活用に向けた検討」では取組段階を正確に表していない。「実証」「実施」「推進」など、事業の進捗状況を踏まえ、一段階踏み込んだ表現への修正を求める。
- ③ 69 ページ 施策と主な取組（3）空き家の活用・流通の促進のうち、「不動産関係事業者等が活躍しやすい」との表現について、「官民連携を推進する」または「多様な民間事業者等が参画しやすい環境を整える」など、連携の広が

りが伝わる表現への修正を求める。

(2) 強化を求める事項

なし

(3) 今後の検討課題

なし

分野 7 行政経営

(1) 修正を求める事項

① 指標 64 実質公債費比率の目標値「類似団体の平均以下（毎年度）」は分かりにくいので、再考されたい。

② 77 ページ 施策と主な取組（１）自主財源の確保（２）戦略的かつ健全な予算編成と予算執行の推進について、財源確保についても共創の視点で効率的・効果的に行う必要がある。表現について再考されたい。

③ 77 ページ 施策と主な取組（１）自主財源の確保のうち、国県などの補助は依存財源であるので、掲載箇所について再考されたい。

④ 77 ページ 共創への取組の「市民」のうち、「限られた財源の中での優先度について考えよう」は市民に分かりにくい。「税金の使われ方を考えよう」など、表現について再考されたい。

⑤ 79 ページ 共創への取組の「市民」のうち、１項目目と２項目目の違いが分かりにくい。また、「協力しよう」「行わないように心がけよう」の文末の表現は、市民に押し付けない、市民が受け入れやすいものとすべきである。表現について再考されたい。

(2) 強化を求める事項

なし

(3) 今後の検討課題

なし

計画全体

① 「共創への取組」の表現全般について、市民目線で分かりやすいもの、受け入れやすいものとすべきである。表現について再考されたい。

② 用語解説について、巻末でなく各ページの下欄にあるとストレスなく読めるので検討されたい。また、巻末に置く場合でも、利便性を考慮し、より用語検

索がしやすいよう注釈等の記載方法を工夫されたい。

- ③ ウェルビーイング指標の導入は、全国的にも先進的な取組であり、評価できるが、連動性や分かりやすさについては、工夫されたい。
- ④ 基本政策との関連性が明確な指標については、分野だけでなく関連する基本政策も巻末の「指標一覧表」に加えると、より分かりやすくなるため再考されたい。
- ⑤ 環境変化により重層的支援など、分野をまたぐ施策の重要性が増している。こうした複合的な課題や問題解決のための施策を市民に分かりやすく説明できる広報や啓発の工夫を求める。
- ⑥ 基本構想の期間が 10 年間から 8 年間へ、前期基本計画の期間が 4 年間へと変更されたが、実施計画や下位計画との連動や関係性への影響などが心配される。確認検討の上、必要に応じ議会や市民への説明をお願いしたい。
- ⑦ 総合計画の活用と周知
 - ア 市民みんなの総合計画となるよう、市民、事業者、各種団体、行政、議会が計画を共有し、それぞれの行動につなげる共通の指針として活用することを求める。
 - イ ホームページへの掲載だけでなく、分かりやすい概要版や活用ガイドなど、市民が計画を身近に感じ、まちづくりへの参画につながる工夫の充実を求める。
- ⑧ 各部局が所管する関係団体や事業者等と計画の趣旨や目指す姿を共有し、その実現に向け、それぞれが担える役割や具体的な取組について意見交換する機会の充実を求める。
- ⑨ 策定の趣旨が市民に分かりやすく伝わる記載について検討することを求める。
 - ・市民の生命・財産、福祉、安全・安心など、行政が責任を持って支えるべき基盤を明確にした上で、市民、事業者、各種団体、行政、議会がそれぞれの役割を担い、共にまちづくりを進めていく考え方について検討することを求める。
 - ・人口減少や少子高齢化、厳しい財政状況など、本市を取り巻く社会環境を踏まえ、なぜ今「共創」が必要なのか、その背景や策定の趣旨が市民に伝わる構成について検討することを求める。
- ⑩ 「しあわせバイタル」について、分かりやすい掲載方法を検討することを求める。

- ・「しあわせバイタル」「5つの安心プロジェクト」「SDG s」の3つのアイコンが混在しているため、市民自身が選択できる形やウェルビーイング指標に組み込むなど、分かりやすい掲載方法について検討することを求める。

以上